

西本願寺門前町に「にぎわい」を取り戻すまちづくりプロジェクト

龍谷大学門前町サークル

○中山 理恵

1. 活動方針・目的

本活動は、西本願寺門前町に「にぎわい」を取り戻すことを目標にして、地域の人たちにまちづくりへの関心をもってもらうとともに、広く世間に門前町の魅力を伝える活動を行っている。西本願寺門前町は、京都駅北側に立地しており、京都の玄関口として、今後の京都の発展を支える重要地点である。本サークルは、1000年の都である京都が、大都市間競争に勝ち残り、今後も発展し続ける基礎づくりを目指している。

2. 活動内容

① 門前町の住民にまちづくりへの関心を高めてもらう活動

子どもにまちづくりへの関心をもってもらい、子どもから大人へ関心が伝えられることを期待して、下京渉成小学校児童と門前町のまち歩き、それを絵にして絵画展の開催、その絵を組み込んだ伝統産業の製品に仕上げる活動。毎月16日早朝の清掃活動。仏具の「リン」を応用した風鈴の制作・住民に寄贈、「おりん de 風鈴祭り」の開催。

② 門前町の魅力を世間にアピールする活動

仏具の「リン」をモチーフにしたマスコット「おりんちゃん」の制作・各地域でのイベントへの参加。毎月16日に手づくり市「門前町いちろく市」の開催。「しんらんさんグルメ」と称して、門前町をPRするスイーツの新製品の開発販売。門前町の歴史と現状を紹介したマップ・ガイドの制作。門前町カレンダーの制作（古写真と現在の写真を比較して、門前町の変遷が分かるカレンダー）

③ 普段の門前町での活動成果を基礎として、東日本大震災復興支援の取り組み

3. 他の活動団体の参考となる事例

西本願寺門前町は、西本願寺への依存意識が高い地域であり、自発的に門前町の活性化を試みる風土が欠けている地域である。小学生児童との係わりを手掛かりとして、地域住民・事業者にもまちづくりへの関心を高める工夫を試みている。

4. 今後の課題等

地元住民・事業者からなるまちづくり組織として「植柳まちづくりプロジェクト・チーム」が、平成21年4月に結成された。この組織との連携のあり方を含め、地元コミュニティとどのように係わり、活動を継続させるかが今後の課題である。

第8回「関西元気な地域づくり発表会
コミュニティ・防災減災分科会



西本願寺門前町に「にぎわい」を 取り戻すまちづくりプロジェクト

龍谷大学門前町サークル
(中山理恵・吉田枝里子・ナレントヤ
善住由佳・仲村彩加・小寺美咲)

平成25年2月5日(火)
大阪合同庁舎1号館 第1別館

I 目的

- 西本願寺門前町に「にぎわい」を取り戻す
 現状: 地域人口の減少、来街者の減少
小学校の統廃合⇒地域の拠点の喪失
- 京都が大都市間競争に勝ち残り、今後も発展し
続ける基礎づくり
西本願寺門前町は、京都駅北側に立地
京都の玄関口: 今後の京都の発展を支える重
要地点
- 新しい京都観光の創造: 一年中、中心部
現状: 春と秋、東山と嵐山に集中

Ⅱ 対象範囲

東西:堀川通⇔⇔東本願寺(新町通)

南北:六条通⇔⇔七条通

西本願寺

門前町

東本願寺

龍谷大学
大宮キャンパス



出所:GOOGLEマップより作成。

京都駅

Ⅲ 門前町の特徴

- ①・西本願寺が最大の需要家である地域＝西本願寺と関係者を対象とした安定した事業
(訪問販売・通信販売)⇒地元への関心が薄い
 - ・仏壇仏具事業者が多い⇒観光客に向かない
 - ・国道1号線の拡幅(戦時中)⇒西本願寺と門前町が遮断京都市の調査:西本願寺に年間150万人が来訪
門前町の来街者数は不明
- ②・西本願寺は世界遺産＝文化財(但し、非公開)
 - ・伝統産業の「匠の技」＝実演・体験
 - ・京都駅から徒歩圏内

IV 活動内容

- 地域の埋もれた人的・物的資源の発掘・情報発信⇒門前町のまちづくり:平成13年に開始
地域住民にまちづくりへの関心をもってもらう
門前町の魅力を世間に伝える
 - 西本願寺の文化財の紹介
 - 非公開文化財見学と伝統産業の体験ツアーの開催
 - 旅フェアに出典
 - 毎月16日に手づくり市「門前町いちろく市」の開催
 - 「リン」をモチーフにしたマスコット「おりんちゃん」の制作・各地域でのイベントへの参加。「おりんちゃん」グッズの制作・販売
- 普段の門前町での活動成果を基礎として、東日本大震災復興支援の取り組み

地域住民にまちづくりへの関心をもってもらう活動

子どもにまちづくりへの関心をもってもらい、子どもから大人へ関心が伝えられることを期待

- 下京渉成小学校児童と門前町のまち歩き、それを絵にして絵画展の開催、その絵を組み込んだ伝統産業の製品に仕上げる活動
- 毎月16日早朝の清掃活動
- 12月20日、西本願寺「すす払い」(500年続く年末の大掃除):住民に参加要請
- 仏具の「リン」を応用した風鈴の制作・住民に寄贈、「おりんde風鈴祭り」の開催
- 「おりんちゃん」の制作
- 「しんらんさんグルメ」と称して、門前町をPRするスイーツの新製品の開発販売
- 門前町の歴史と現状を紹介したマップの制作、まち歩きツアーの開催
- 門前町カレンダーの制作(古写真と現在の写真を比較して、門前町の変遷が分かるカレンダー)
- 新たな門前町のイメージ作り:「仏具のまち」⇒「三十六歌仙のまち」(西本願寺の国宝)⇒⇒仏壇仏具製作技術の美術品へ応用:可能性に気づいてもらう

V 今後の課題

- 平成21年4月、「植柳まちづくりプロジェクト・チーム」(地元住民・事業者からなるまちづくり組織)が結成⇒連携のあり方、地元コミュニティとどのように係わり、活動を継続させるか
- 校区の拡大⇒門前町と不一致
- 信教の自由との関係
例: 絵画展が西本願寺聞法会館(ホテル)で開催できない
- 寺院経営と文化財の公開
- 仏具と工芸品

VI 付録: コミュニティ・防災減災分科会として

- 伏見区での活動
 1. こども意識調査: こどもの考えを取り入れたまちづくり
 2. 伏見稲荷大社クイズラリー: 伏見稲荷と地域との架け橋
- 東日本大震災: 門前町の活動成果を活かした支援
緊急支援が終わった後の「2次災害」を防ぐ
「震災は過去の出来事、復興は現在の課題」
 1. 観光業をリーディング産業とした東北復興による被災地および被災者の所得と雇用の確保のための活動
東北3県の観光地実情調査
東北観光キャンペーンの開催: 大阪、京都
 2. 被災者の心のケアのための環境確保活動
: 自宅で避難生活をしている被災者を主な対象として実施
念珠の寄贈と激励メッセージの持参
京都の伝統料理と投扇興
炊き出し・記念モニュメントの寄贈
がれきの撤去作業





西本願寺Webサイトより



昨年度の活動の詳細は、
<http://www.ryukoku.ac.jp/shaken/huzoku/ryudai.pdf>
をご覧ください。

連絡先

井口富夫

E-mail: iguchi@econ.ryukoku.ac.jp

電話: 075-645-8416